

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	11	学校名	各務原高等学校
------	----	-----	---------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	文武両道を実践し、総合的な人間力を培う高校として 校訓「開拓者精神（創造・挑戦・協同）」のもと、地域社会と連携・協働した教育活動を通して 知・徳・体の調和のとれた人間性を身に付けた、地域の核となる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	(1) 知育・徳育・体育の調和のとれた生徒を育成する。 (2) 基礎的、基本的な知識と技能を身に付け、向上心があり、知性を備えた生徒を育成する。 (3) 個性豊かで、自己を律するとともに、自他をかけがえのない存在として認識し、協調性のある生徒を育成する。 (4) 心身ともに健康な体の基礎をつくり、生涯健康で健やかな生活が送れる生徒を育成する。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的、基本的な知識と技能を身に付け、向上心や挑戦心をもつ、知性と創造性を備えた生徒 豊かな個性をもち、自己を律することができるとともに、自らや他者をかけがえのない存在として認識し、協調性や協同性とたくましさや備えた生徒 自己の在り方生き方を考え、地域社会や国際社会の一員として活躍することができる見識と行動力を備えた生徒 	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 学力の向上を図るため、習熟度別や少人数による指導、ICT等を活用した指導など個々に応じた「わかる」授業の実施 多様な進路志望に応じた、進路希望別クラス編成（特進クラスなど）、国際交流推進、部活動活性化（エキスパートクラブ）、高大連携等を包括したカリキュラムの編成と実施 多様な価値観、課題解決、コミュニケーションを重視した総合的な探究の時間や生徒会行事、地域の人材資源を有効に活用した地域活動の実施 	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な探究心と実践への意欲をもち、高い志を掲げて積極的に学習活動に取り組む生徒 真摯な態度で己を律することができ、思いやりの精神と仲間とともに切磋琢磨できる気概をもった生徒 地域に愛着をもち、他者と協調し、協働しながら、社会に貢献しようとする意欲のある生徒 	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 授業満足度や主体性は向上している一方、家庭学習時間の増加につながっていない。学習内容の定着や活用力に弱さが見られる。 生徒の実態に応じた授業づくりは進展しているが、さらに個別最適な学びの充実が必要である。学力定着・理解度・進路志向に幅がある。 遅刻は減少するなど改善傾向である。しかし、軽率な言動を要因とする指導事案が発生することが多く、人間関係構築に課題のある生徒も存在している。 時間外勤務は減少しているが、部活動指導や業務量の多さは依然課題である。メンタルケアや職場環境改善も必要である。 		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	主体的に学ぶ態度の育成とともに、家庭学習習慣の確立を図り、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と活用力の向上を目指す。あわせて、生徒の学力や進路志向の多様性に対応した個別最適な学びの充実を推進する。	
	生徒指導	秩序ある教育環境の維持のもと、自他の生命や人格を尊重する態度の育成とともに、望ましい人間関係構築力の向上を図り、軽率な言動の防止を含めた自律的な生徒の育成を目指す。	
	特別活動	学校行事や部活動等の充実を通して心身の調和のとれた発達を図るとともに、主体性・協働性の育成と自己有用感の向上を図り、人間関係形成能力の向上を目指す。	
	学校経営	教育活動の質の向上に資するため、業務の効率化・精選を図り、働き方改革を推進し、働きやすい職場環境の整備を目指す。	
教育職員の業務量管理・健康確保措置の実施	学校に設置されている様々な委員会等について、類似の内容を扱う委員会等の合同設置など適正化に向けた運用を図る。 年次休暇の取得状況を確認し、取得日数が少ない職員に対して計画的な取得を促していく。 教職員の健康診断やストレスチェックの実施状況等を把握した上で、健康の保持増進に向けた取組を推進する。		

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	家庭学習の定着と主体的な学習態度の育成を図るため、ICTを活用した課題配信と週間学習計画・振り返りの実施により学習の見える化を推進する。	施策Ⅱ-9	①生徒が自ら学習計画を立て、振り返りを通して課題を明確にし、学習改善につなげている状態であったか。				
	習熟度別・少人数指導を計画的に実施し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。	施策Ⅱ-8	②生徒の理解度や進度に応じた指導が適切に行われ、安心して学べる環境が整っていたか。				
	主体的・対話的で深い学びを実現するための教科指導となるよう、授業改善・校内研修を組織的・計画的に推進する。	施策Ⅱ-8	③授業改善に向け、授業評価、授業研究・校内研修が効果的に行われていたか。				
	「ふるさと教育」に積極的に取り組む。地域資源を活用し、地域との交流を深め、地域課題を発見・解決する学習を推進する。	施策Ⅱ-13	④生徒が地域の課題に関心を持ち、自分事として探究しようとする姿勢が育っていたか。				
生徒指導	秩序ある教育環境の維持と規範意識の向上を図るため、挨拶・身だしなみ・時間遵守等の基本的な生活習慣の定着を、社会性の育成や進路実現と関連付けながら継続的に指導する。	施策Ⅳ-20	①挨拶・身だしなみ・時間遵守などが日常的かつ自発的に行われていたか。				
	軽率な言動やいじめ等の未然防止に向け、HR活動や人権教育、ケーススタディを体系的に実施し、望ましい人間関係構築力と自他を尊重する態度の育成を図る。	施策Ⅰ-2	②生徒が他者を尊重し、思いやりのある言動をする場面が増えていたか。				
	定期的な個別面談や教育相談体制の充実に加え、全職員による情報共有と組織的対応を徹底し、問題行動等の早期発見・早期対応に努める。	施策Ⅰ-3	③生徒が安心して相談できる雰囲気・関係が形成されていたか。				
	交通安全指導については、自転車ルール徹底や具体的な安全行動の定着を図り、事故防止と安全意識の向上を推進する。	施策Ⅲ-19	④生徒が安全ルールを理解し、日常的に安全を意識して行動していたか。				
特別活動	主体性・協働性及び自己有用感の向上を図るため、生徒会活動を中心に、学校行事の企画・運営を推進し、活動の充実と評価・改善のサイクルの確立を図る。	施策Ⅱ-8	①生徒が主体的に企画・運営に関わり、自ら活動を創り出していたか。				
	心身ともに健康な体づくりを行い、たくましさ、自己管理能力の育成を図る。	施策Ⅲ-16	②振り返りが形式的でなく、改善意識の高まりを実感しているか。				
	部活動においては、活動の充実と教職員の負担軽減の両立、安全管理（熱中症対策等）の徹底を図る。	施策Ⅳ-27	③生徒が目標をもって意欲的に活動に取り組んでいたか。				
	生徒会活動や部活動、学校行事等の取組については、広報誌やホームページ等を活用し、校内外への積極的な情報発信を行い、学校の魅力向上につなげる。	施策Ⅳ-20	④学校の取組が適切に発信され、学校の魅力が伝わっていたか。				
学校経営	教育活動の質の向上を図るため、業務の効率化・精選を進め、ICTを活用した情報共有の推進や会議の簡素化により働き方改革を推進する。	施策Ⅳ-27	①業務の見直しが進み、無駄の削減や効率化が実感できたか。				
	学年・分掌間の連携を強化し、組織的に生徒の課題に対応する体制を構築する。	施策Ⅲ-19	②学年・分掌間で情報共有が行われ、統一した指導ができていたか。				
	大学・企業・地域人材等の外部資源を積極的に活用し、教育活動の充実と学校の活性化を推進する。	施策Ⅳ-20	③外部人材・機関との連携により教育活動が充実したか。				
	ハラスメントとメンタル不調を速やかに察知し、解決を図る。	施策Ⅳ-28	④ハラスメントやメンタル不調の職員に対して迅速に配慮した対応ができたか。				

来年度に向けての改善方策等 実施日：令和9年 月 日 学校関係者評価 実施日：令和9年 月 日

--	--